

ようこそ大多喜城へ

千葉県立中央博物館大多喜城分館は、千葉県指定史跡の上総大多喜城本丸跡に昭和50年に建てられた天守閣づくり(3層4階の鉄筋コンクリート造)の歴史博物館です。

当博物館は、房総の中世・近世の城郭とそれに関わる武器・武具や調度品・古文書及び武家社会や城下町の生活などに関する資料を展示しています。



紙本著色本多忠勝像

大多喜城の歴史

中世の大多喜は、史料の中に小田喜と見られますので、大多喜城もその頃は小田喜の城と呼ばれていたようです。

16世紀の前半代に武田氏が入城したとも言われていますが、天文期(1532~1555)に安房の里見氏の重臣であった正木氏が入り、以後4代にわたり、上総正木宗家の居城として発展します。

その後、1590(天正18)年に北条氏が豊臣秀吉によって滅ぼされると、徳川家康が江戸城に入り、小田喜城を家臣の本多忠勝に与えて安房の里見氏の勢力をおさえようとした。

城主は本多氏のあと、阿部・青山・稲垣氏へと引き継がれ、1703(元禄16)年に松平氏が入城します。以後、松平氏は9代続き明治の廃藩置県を迎えました。

見る聴く触れる歴史を体感!

講座

「城下を歩く」「古文書を読む」など地域の文化を学びます。

体験教室

甲冑・小袖・袴の試着をとおして武士の時代を体感します。



©BOSO娘

「房総の城と城下町」がテーマです

4階 展示室

大多喜城と城下町の模型を展示し、あわせて周辺の文化財を写真パネルで紹介しています。また、窓から城下町の様子を見ることができます。

3階 展示室

城下町の人々のくらしぶりを示す商工業用具や調度品、信仰資料や古文書などを展示しています。

茶糸威亀甲置具足

2階 展示室

房総の城と武士をテーマに城郭や武士に関する資料を展示しています。また、企画展開催の会場にもなります。

1階 受付・展示室・ミュージアムショップ

ホールでは「千葉県の城」と「房総の大名」をパネルで紹介しています。「体験コーナー」では、兜と陣羽織をつけて写真撮影ができます。



大多喜城地絵図

歴代の城主

中世大多喜城

武田氏 (信清・直信・朝信)	16世紀代正木氏以前に在城か
ときしげ 正木時茂	天文14 1545 正木時綱嫡子 里見氏を代表して上杉謙信等と交渉する 大膳亮と称す
のぶしげ 正木信茂	永禄4 1561
のりとき 正木憲時	永禄4 1561 永禄7 1564 永禄9 1566 大膳亮と称す
ときしげ 正木時茂 (時亮)	天正9 1581 天正9 1581 里見義頼の次男で小田喜正木氏を継承 天正18 1590

近世大多喜城

ただかつ 本多忠勝 (十萬石)	天正18 1590	徳川四天王の一人とうたわれた家康の重臣 天正18年秋に入城 その後、伊勢国 (三重県) 桑名城に移る
ただとも 本多忠朝 (五萬石)	慶長6 1601 元和元 1615	本多忠勝の次男 大坂夏の陣で戦死
まさとも 本多政朝 (五萬石)	元和元 1615 元和3 1617	本多忠朝の甥 播磨国 (兵庫県) 龍野城に移り、後に姫路城主となる
まさつぐ 阿部正次 (三萬石)	元和3 1617	相模国 (神奈川県) 小田原城に移る 後に大坂城代となる
ただとし 青山忠俊 (二萬石)	元和5 1619 元和9 1623	下総国網戸に移る
まさよし 阿部正能 (一萬石)	寛永15 1638 寛文11 1671	武蔵国 (埼玉県) 忍城に移る
まさはる 阿部正春 (一萬六千石)	寛文11 1671 元禄15 1702	三河国 (愛知県) 刈谷城に移る
しげとみ 稲垣重富 (二萬五千石)	元禄15 1702	領地が狭いため、わずか21日で下野国 (栃木県) 烏山城に移る
まさひさ 松平正久 (二萬石)	元禄16 1703 享保5 1720	相模国甘繩城より大多喜城に移り、子孫世襲して明治維新に至る
まささだ 松平正貞 (二萬石)	享保5 1720 寛延2 1749	松平正久の嫡男
まさはる 松平正温 (二萬石)	寛延2 1749 明和4 1767	松平正貞の養子 松平信祝の第三子
まさのり 松平正升 (二萬石)	明和4 1767 享和3 1803	松平正温の嫡男 城主在任約36年
まさみち 松平正路 (二萬石)	享和3 1803 文化5 1808	松平正升の嫡男
まさたか 松平正敬 (二萬石)	文化5 1808 文政9 1826	松平正路の嫡男
まさよし 松平正義 (二萬石)	文政9 1826 天保8 1837	松平正路の第四子 松平正敬の養子となる 城内に藩校明善堂を設立する
まさとも 松平正和 (二萬石)	天保8 1837 文久2 1862	松平正敬の次男 松平正義の養子となる 夷隅の海岸に砲台を築き、黒船の来航に備える
まさただ 松平正質 (二萬石)	文久2 1862 明治4 1871	間部詮勝 (幕府老中) の第五子 松平正和の養子となり幕府の老中格に進み、鳥羽伏見の戦いに出征 明治2年版籍を奉還する 本姓に復して大河内と改姓 大多喜藩知事となる 明治4年 280余年にわたる大多喜城の歴史に終止符を打つ

交通アクセス



電車・バスをご利用の場合

大多喜駅 (いすみ鉄道) 下車徒歩約15分
茂原駅南口 (JR外房線) から
小湊バス大多喜行きて「久保」下車・徒歩約20分

自動車をご利用の場合

〈千葉方面〉圏央道「茂原長南IC」から16km・約25分
館山道「市原IC」から33km・約50分
〈木更津方面〉圏央道「市原鶴舞IC」から13km・約20分
館山道「木更津北IC」から38km・約55分

ご利用案内

開館時間 午前9時から午後4時30分まで (入館は午後4時まで)

休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館)
年末年始、その他臨時休館

入場料

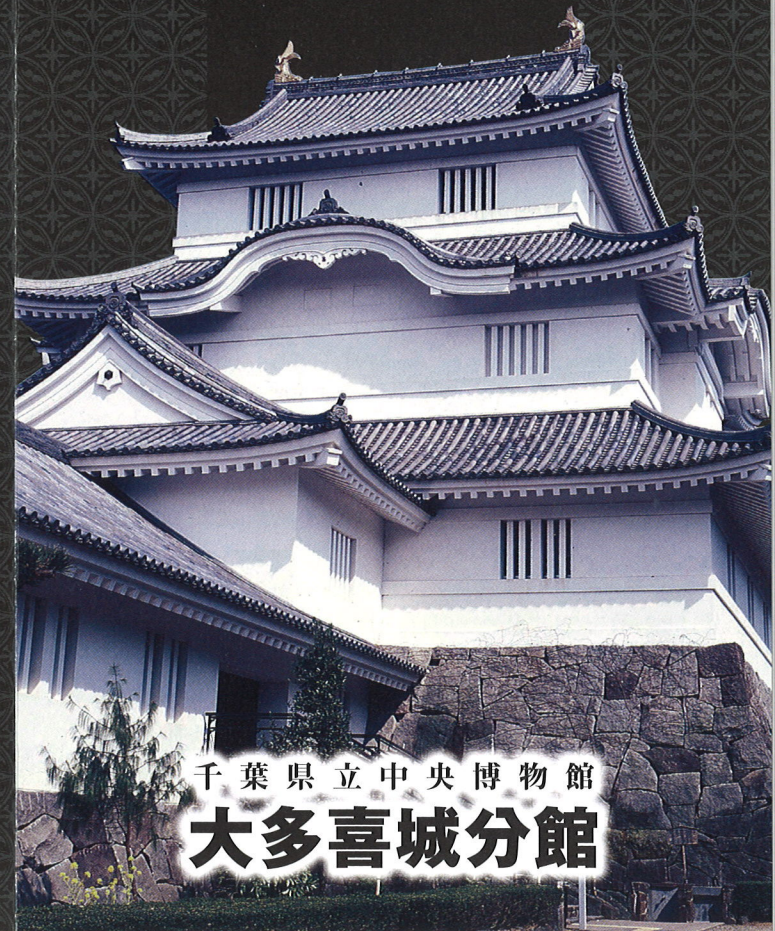
	一般	高校・大学生
個人	200円	100円
団体割引	160円	80円
中学生以下・65歳以上	無料	

企画展開催中は別料金となります
学生の方は学生証、65歳以上の方は年齢が証明できるものをお持ちください
団体割引は20名以上 (無料入場者含む) の場合に適用されます
障害者手帳等をお持ちの方は本人と介助者は無料です

〒298-0216 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
TEL.0470-82-3007 (代表) FAX.0470-82-4959
<http://www.chiba-muse.or.jp/SONAN/>

大多喜城

Otaki-jo Castle Museum



千葉県立中央博物館
大多喜城分館